

令和二年度

新潟県立十日町看護専門学校

## 入学式 式辞

記録的な小雪のお蔭もあり 今日の良き日に皆さんの入学を祝福する桜が咲きました。新潟県立十日町看護専門学校の栄えある第一期生三十六名の皆さん、入学おめでとうございます。

本日は遠路はるばる藤山育郎新潟県病院局長に御出で頂き ご臨席を賜りました。厚く御礼申し上げます。新型コロナウイルス感染症対策とはいえ、本来なら ご臨席を賜るはずの十日町市長様、十日町市中魚沼郡医師会長様、新潟県看護協会会長様、十日町地域振興局健康福祉環境部長様はじめ多くのご来賓をお呼びできず、皆さんの入学に多大なご支援をいたいたご家族様にも同席いただけず、誠に残念に思います。

しかし 晴れてこの日を迎えた皆さんを、教職員や十日町市は勿論 魚沼地域や新潟県全体で歓迎するとともに 大きな期待を持って注目していると思います。栄えある入学に際し

ご支援をいただきましたご家族様及び関係各位に改めて心からお祝い申し上げます。

さて、日本の社会保障は転換期にあり 少子高齢化や医療偏在などに伴い 新潟県の地域医療は弱体化が懸念されています。新潟県はこの状況を改善するため看護専門学校を十日町市に新設すると決断しました。それに呼応して十日町市は この医療福祉総合センターを建築し 全面的にご支援いただきました。第一期生を迎えた入学式にあたり心から感謝申し上げます。

地域医療に貢献する看護師の養成は更に重要性を増し、その需要は高まると予想しています。加えて、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大は 日頃から危険の中に立ち向かう看護師はじめ医療者の姿にあらためて注目が集まり、医療界全体の価値観は高まると思います。

このようにいろいろな意味で注目される時に皆さんは看護師への道を選びました。私は天の与えた時を掴んだと思っています。しかし 望まれた道を選んだと言つても、今日から始まる三年間の教育課程は それほど容易でないと考

えて下さい。国家資格を取るまで　強い覚悟と不斷の努力が必要です。全員卒業、全員国家試験合格を目標に 同級生が一致団結して努力してください。私達教員一同はそのような皆さんを支え懸命に指導いたします。ご両親はじめご家族やご支援者の皆様には 引き続き 温かく見守り優しくご助力をいただきますようお願い申し上げます。

さて、新入生の皆さんは 看護の道の出発に際し 初心を胸に刻み 夢への誓いを新たにして下さい。そして、常に人間性の成長を心掛けて下さい。我々の前には 心を傷めた患者さんが大勢 やってきます。医療によつて結果が良くなるとは限りません。そのような時に 病気や障害や期待外れの結果にも臆することなく患者さんに寄り添わなければいけません。不安と戦う患者さんを尊重し、根気強く支援できる力を養つて下さい。

次に国家試験に合格するためには膨大な知識を獲得して下さい。一年生では主に医療の基礎分野を学びます。医学用語は耳慣れず覚えるのが

大変ですが、仲間と励まし合つて慣れてくださ  
い。続いて病気やその治癒過程を理解するため  
病態学など医学を学びます。続いて看護学の講  
義を受け、看護のあり方を知ります。盛りだくさ  
んの内容に接し、試験に追われ あつと言う間  
に時間が過ぎることでしょう。二年生になりナ  
イチンゲールの心を引き継ぐ 戴帽式の感動を  
経て 本格的な看護体験である臨地実習に入っ  
ていきます。最後の一年は実習と国家試験準備  
で瞬く間に過ぎます。この三年間は知識や技術  
以外にも、不規則な勤務に耐えられる体力と不  
屈の精神力などが求められます。

看護の道に進むための日々の努力や苦労は  
将来の働き甲斐につながり、やがて生き甲斐と  
なっていくことでしょう。我々は患者さんの笑  
顔や感謝の気持ちを受けると、多くの困難や苦  
労をはるかに超えた喜びを感じます。看護の道  
を選んで良かったと思える人生になるよう祈つ  
ています。

現場では医療の不確実性や危険を前にして  
チームの重要性を認識し 医療者同士の仲間意

識を強くします。仲間を信じ仲間の応援を受け、チームで働き情報を共有し 支え合うことを学びます。同期の仲間は 一生の財産となり 看護師人生を明るく支えくれます。仲間とともに一生続く勉強と人間的成长に 欠かせないのは患者さんの存在です。医療者にとつて患者さんはある意味で一番の先生です。多くのことを学ばせていただく という謙虚な気持ちで接する、患者さんへの理解は一層進みます。感謝する心は看護の基本だと考えてください。

最後にお願いがあります。日々の仕事や勉強を進めるにあたり、自分の健康を維持することに留意してください。皆さんのが心身ともに健康で、充実した学生生活を過ごせるよう心からお祈り申し上げます。

皆さんと関係各位のご健勝とご多幸を祈念し、式辞といたします。

令和二年四月十日

新潟県立十日町看護専門学校長

塚田芳久